



@Tovas for Salesforce ユーザーガイド (ファイル配信)

Ver.1.3

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2021/03/12	新規作成
1.1	2021/04/21	CSV 連携に関する説明を追記
1.2	2021/06/14	「4. ファイル配信履歴」にステータス更新を行う履歴の日数制限を追記 「5. バックグラウンド処理」にスケジューラ登録を行うユーザーに必要な権限・パッケージライセンスについての説明を追記
1.3	2023/04/25	「ソアスク@」を「@Tovas for Salesforce」に変更

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記していません。

本書の使い方

本資料では、@Tovas for Salesforce でファイル配信機能をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

尚、本書ではオプロが提供する D3Worker の知識を前提として説明を進めます。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使います。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使います。

目次

1. セットアップ手順	6
1.1 @Tovas for Salesforce とは	6
1.2 拡張パッケージ「@Tovas for Salesforce」のインストール	7
1.3 各種設定 (Salesforce)	8
1.3.1 認証情報登録画面を開く	8
1.3.2 管理者ライセンスを登録する	9
1.3.3 一般ユーザライセンス(ファイル配信を実行するユーザライセンス)を登録する	11
1.3.4 D3Worker ユーザライセンスを登録する	13
1.3.5 バックグラウンド処理の設定	14
1.3.6 カスタム設定「Docutize Statics Setting」の項目値を設定	15
1.4 各種設定 (D3Worker)	17
1.4.1 ワーク・エンベロップ・サービスの雛形をインポート	17
1.4.2 インポートしたサービスの設定編集	18
2. ファイル配信(Salesforce 連携)	20
2.1 レコード作成	20
2.1.1 新規ファイル配信設定	20
2.1.2 詳細設定	25
2.2 自動ジョブ登録: 有効	28
2.3 自動ジョブ登録: 無効	31
2.3.1 詳細ページから出力する場合	31
2.3.2 リストページから出力する場合	34
2.3.3 ボタン設置後の注意点	37
3. ファイル配信(CSV 連携)	40
3.1 レコード作成	40
3.2 自動ジョブ登録	45
3.2.1 「有効」を選択した場合	46
3.2.2 「無効」を選択した場合	47
4. ファイル配信履歴	48
4.1 ファイル配信履歴レコード	48
4.2 @Tovas 履歴レコード	50

5. バックグラウンド処理	52
5.1 スケジューラ登録	52
5.2 バックグラウンド処理履歴	53
6. パッケージのアンインストール	54
6.1 アンインストールの事前準備	54
6.2 アンインストールの手順.....	56

1. セットアップ手順

ここでは@Tovas for Salesforce のセットアップ手順について説明します。

1.1 @Tovas for Salesforce とは

株式会社オプロが提供する Salesforce パッケージ「docutize」の拡張パッケージです。
コクヨ社の@Tovas サービスを Salesforce から利用できるようになります。

注意 組織に docuize がインストールされていることが前提です。

1.2 拡張パッケージ「@Tovas for Salesforce」のインストール

1. システム管理者で Salesforce にログインし、以下の URL で@Tovas for Salesforce をインストールします。
<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000003x5eu>
2. 「すべてのユーザのインストール」を選択し、[インストール]ボタンをクリックします。
※バージョン番号は画像と異なる可能性があります。



3. 「はい、これらのサードパーティ Web サイトにアクセスを許可します」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。

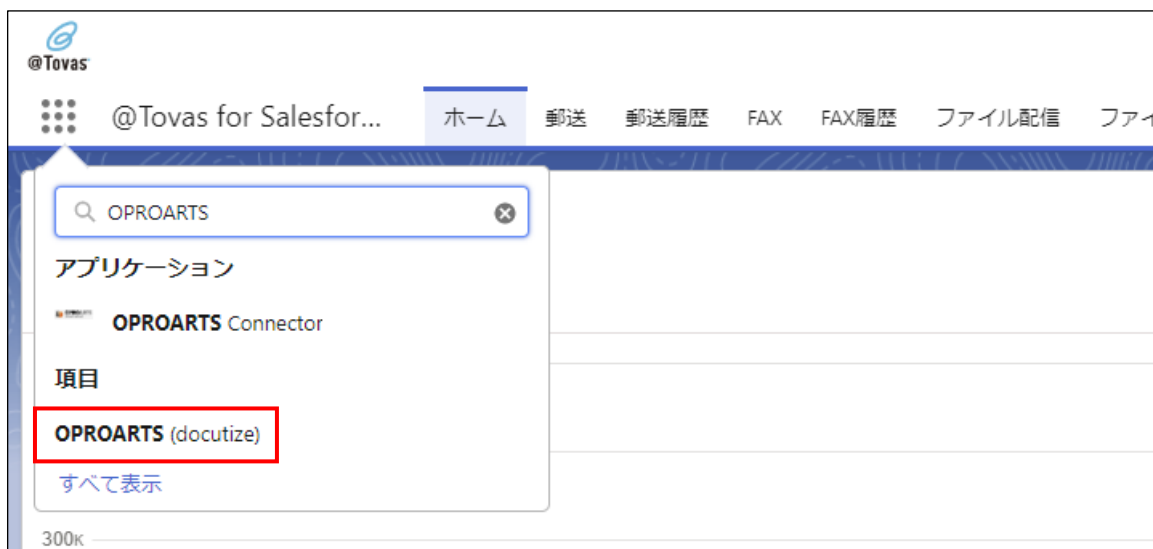


4. インストールが完了すると、システム管理者にメールで通知されます。

1.3 各種設定 (Salesforce)

1.3.1 認証情報登録画面を開く

1. アプリケーションランチャーアイコンをクリックし、検索欄に「OPROARTS」と入力すると「OPROARTS(docutize)」が表示されるので、クリックします。



2. 「OPROARTS Connector 認証情報」画面が表示されます。



1.3.2 管理者ライセンスを登録する

1. 「OPROARTS Connector 認証情報」画面下部の「OPROARTS (docutize)」で次の項目を設定し、[追加] ボタンをクリックします。

OPROARTS (docutize) : LAD を選択

CID: オプロから送付された OPROARTS の CID を入力

OPROARTS (docutize)		
アクション	OPROARTS (docutize)	CID
<input type="button" value="追加"/>	デザイン(LAD) ▼	<input type="text" value="CID"/>

2. 設定した LAD 情報が下行に追加されます。[LAD] リンクをクリックします。

編集 削除 LAD

3. 「LAD」画面が表示されます。「User」の [虫眼鏡マーク(アイコンで表示)] をクリックします。

« 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)			
アクション	ユーザ	UID	UPW
<input type="button" value="追加"/>	<input type="text"/> <input type="button" value="🔍"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

4. 「検索」画面が表示されます。帳票設計を行うユーザを選択します。

検索

他の文字の横にワイルドカード「*」を使用してより高度な検索をすることができます。

最近参照したユーザ

氏名	ロール
Platform ユーザ	
標準 ユーザ	

5. 「LAD」画面に戻ります。「User」に、選択したユーザが表示されていることを確認したら、株式会社オプロから送付されたテキストファイルに記載の情報を次の項目に入力し、「追加」ボタンをクリックします。

« 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	Platform ユーザ	UID	UPW

6. 設定したユーザ情報が下行に追加されます。
帳票設計を行うユーザについて、3～5の作業を繰り返します。
7. 「一覧に戻る」リンクをクリックします。

« 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)

アクション	ユーザ
追加	
編集 削除	Platform ユーザ

1.3.3 一般ユーザライセンス(ファイル配信を実行するユーザライセンス)を登録する

1. 「OPROARTS Connector 認証情報」画面下部の「OPROARTS (docutize)」で次の項目を設定し、[追加] ボタンをクリックします。

OPROARTS (docutize) : LA を選択

CID: オプロから送付された OPROARTS の CID を入力

OPROARTS (docutize)		
アクション	OPROARTS (docutize)	CID
<input type="button" value="追加"/>	帳票 (LA) ▼	<input type="text" value="CID"/>

2. 設定した LA 情報が下行に追加されます。[LA] リンクをクリックします。

編集 削除 LA
--

3. 「LA」画面が表示されます。「User」の [虫眼鏡マーク(アイコンで表示)] をクリックします。

« [一覧に戻る: OPROARTS \(docutize\)](#)

OPROARTSユーザ (docutize)			
アクション	ユーザ	UID	UPW
<input type="button" value="追加"/>	<input type="text"/> <input type="button" value="🔍"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

4. 「検索」画面が表示されます。ファイル配信を行うユーザを選択します。

検索

検索... Go!

他の文字の横にワイルドカード「*」を使用してより高度な検索をすることができます。

最近参照したユーザ

氏名	ロール
Platform ユーザ	
標準 ユーザ	

5. 「LA」画面に戻ります。「User」に、選択したユーザが表示されていることを確認したら、株式会社オプロから送付されたテキストファイルに記載の情報を次の項目に入力し、[追加] ボタンをクリックします。

< a href="#>< 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	Platform ユーザ	UID	UPW

6. 設定したユーザ情報が下行に追加されます。
ファイル配信を行うユーザについて、3～5の作業を繰り返します。
7. [一覧に戻る] リンクをクリックします。

< a href="#>< 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)

アクション	ユーザ
追加	
編集 削除	Platform ユーザ

1.3.4 D3Worker ユーザライセンスを登録する

@Tovas for Salesforce のファイル配信機能では D3Worker を使用するため、D3Worker についてもユーザライセンスを Salesforce 上に登録しておく必要があります。

1. 「OPROARTS Connector 認証情報」画面下部の「OPROARTS (docutize) 」で次の項目を設定し、[追加] ボタンをクリックします。

OPROARTS (docutize) : D3Worker (D3W) を選択

CID: オプロから送付された OPROARTS の CID を入力

OPROARTS (docutize)		
アクション	OPROARTS (docutize)	CID
<input type="button" value="追加"/>	D3Worker (D3W) ▼	<input type="text" value="CID"/>

2. 設定した D3W 情報が下行に追加されます。[D3W] リンクをクリックします。

アクション	OPROARTS (docutize)
編集 削除	D3W

3. 「D3W」画面が表示されます。「User」の [虫眼鏡マーク(アイコンで表示)] をクリックします。

« 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)			
アクション	ユーザ	UID	UPW
<input type="button" value="追加"/>	<input type="text"/> <input type="button" value="🔍"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

4. 「検索」画面が表示されます。ファイル配信を行うユーザを選択します。

検索

検索... Go!

他の文字の横にワイルドカード「*」を使用してより高度な検索をすることができます。

最近参照したユーザ

氏名	ロール
Platform ユーザ	
標準 ユーザ	

5. 「D3W」画面に戻ります。「User」に、選択したユーザが表示されていることを確認したら、株式会社オプロから送付されたテキストファイルに記載の D3Worker 認証情報を次の項目に入力し、[追加] ボタンをクリックします。

<< 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	Platform ユーザ	UID	UPW

6. 設定したユーザ情報が下行に追加されます。
ファイル配信を行うユーザについて、3～5の作業を繰り返します。
7. [一覧に戻る] リンクをクリックします。

<< 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)

アクション	ユーザ
追加	
編集 削除	Platform ユーザ

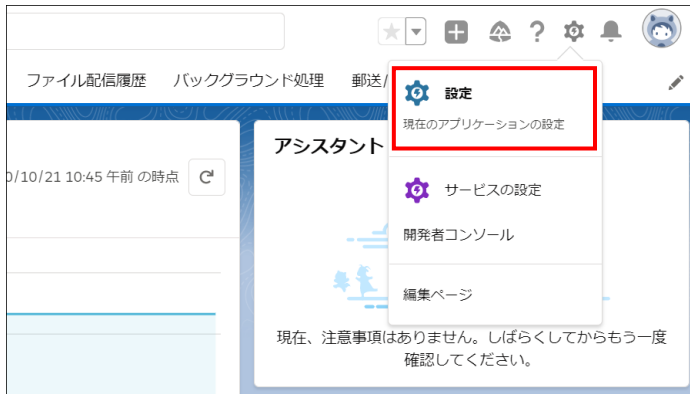
1.3.5 バックグラウンド処理の設定

ファイル配信に関わるバックグラウンド処理を実行するために必要な設定です。

[4.1 スケジューラ登録](#)に記載の通り、設定を行います。

1.3.6 カスタム設定「Docutize Statics Setting」の項目値を設定

1. 設定画面に移動します。



2. クイック検索ボックスに「カスタム設定」と入力し、[カスタム設定]リンクをクリックします。



3. 「Docutize Statics Setting」の左横にある[Manage]リンクをクリックします。



4. [編集]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Custom Settings' (カスタム設定) page. On the left, there is a search bar with 'カスタム設定' and a list of custom codes. The main content area is titled 'Docutize Statics Setting'. Below the title, there is explanatory text about custom settings. At the bottom of this section, there are two buttons: '編集' (Edit) and '削除' (Delete). The '編集' button is highlighted with a red box. Below this, there is a section for 'Default values for the organization level' (デフォルトの組織レベルの値) with a table of settings.

保存場所	製品検証用
Fax Address Name	docutize_fax_address

5. 「D3Worker API URL」の値に「https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{お客様の D3Worker テナント名}」を入力して保存します。

The screenshot shows the 'Docutize Statics Setting の編集' (Edit) page. The page title is 'Docutize Statics Setting の編集'. Below the title, there is a message: '作成した項目の値を入力します。このデータは、アプリケーションにキャッシュされます。' (Enter the values of the created items. This data is cached in the application.). At the top right, there are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The '保存' button is highlighted with a red box. Below this, there is a section for 'Docutize Statics Setting の情報' (Information) with a table of settings. The 'D3Worker API URL' field is highlighted with a red box and contains the value 'https://d3w.ap.oproarts.c'.

保存場所	製品検証用
D3Worker API URL	https://d3w.ap.oproarts.c
Fax Address Name	docutize_fax_address
活動登録ON	<input checked="" type="checkbox"/>

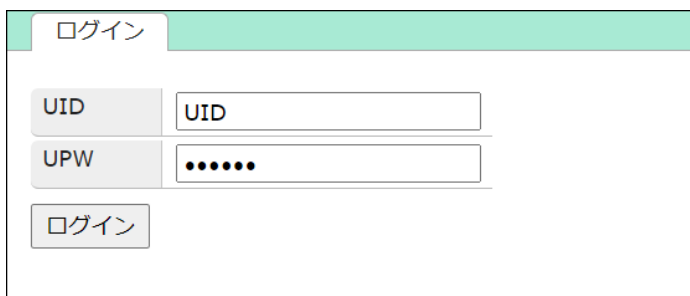
1.4 各種設定 (D3Worker)

1.4.1 ワーク・エンベロープ・サービスの雛形をインポート

1. 以下 URL より ZIP ファイルをダウンロードし、解凍します。

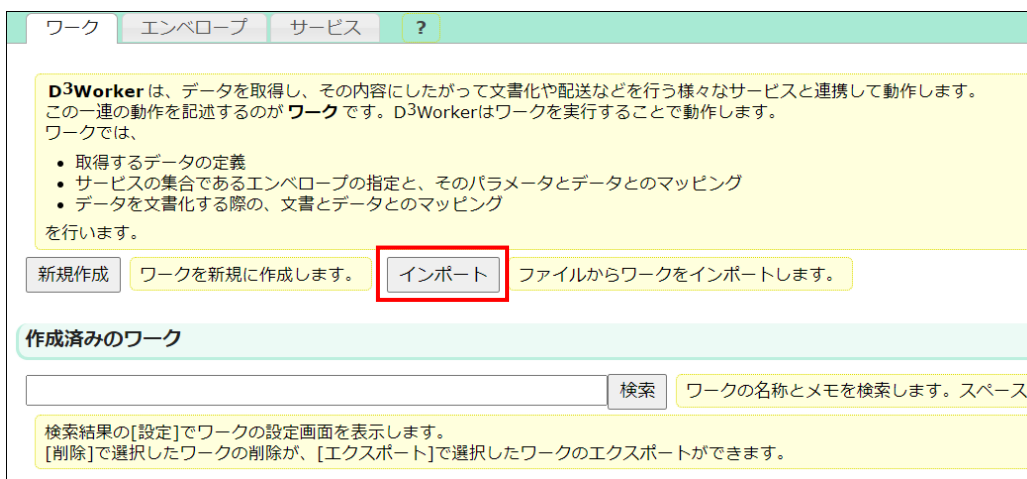
https://www2.opro.net/jp/download/delivery/at_tovas_file_work.zip

2. D3Worker にログインします。



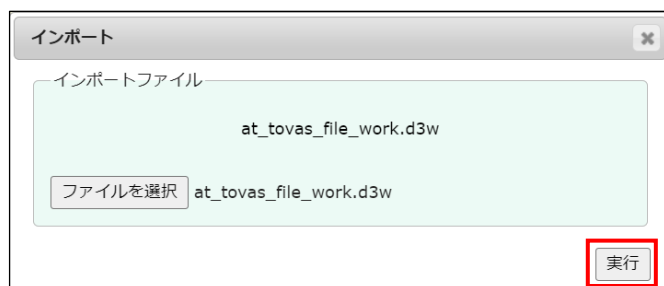
The image shows a login form with a green header bar containing the text "ログイン". Below the header, there are two input fields: "UID" and "UPW". The "UID" field contains the text "UID", and the "UPW" field contains seven dots. Below the input fields is a button labeled "ログイン".

3. 「ワーク」タブで「インポート」ボタンをクリックします。



The image shows the "ワーク" (Work) management interface. At the top, there are tabs for "ワーク", "エンベロープ", "サービス", and "?". Below the tabs, there is a yellow box containing text about D3Worker and a list of actions: "取得するデータの定義", "サービスの集合であるエンベロープの指定と、そのパラメータとデータとのマッピング", and "データを文書化する際の、文書とデータとのマッピング". Below the text, there are three buttons: "新規作成", "ワークを新規に作成します。", and "インポート" (highlighted with a red box), and "ファイルからワークをインポートします.". Below the buttons, there is a section titled "作成済みのワーク" with a search bar and a "検索" button. Below the search bar, there is a yellow box containing text about search results and actions: "検索結果の[設定]でワークの設定画面を表示します。", "[削除]で選択したワークの削除が、[エクスポート]で選択したワークのエクスポートができます。".

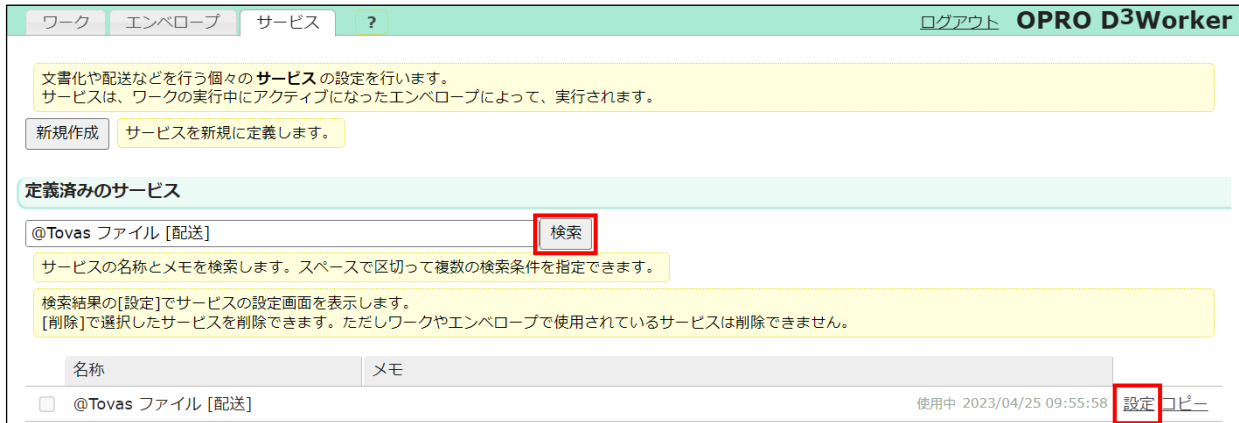
4. ダウンロードした ZIP ファイルに含まれる「at_tovas_file_work.d3w」を選択して、「実行」をクリックします。



The image shows the "インポート" (Import) dialog box. It has a title bar with "インポート" and a close button. Below the title bar, there is a section titled "インポートファイル" containing a list of files: "at_tovas_file_work.d3w". Below the list, there is a button labeled "ファイルを選択" and the text "at_tovas_file_work.d3w". At the bottom right, there is a button labeled "実行" (highlighted with a red box).

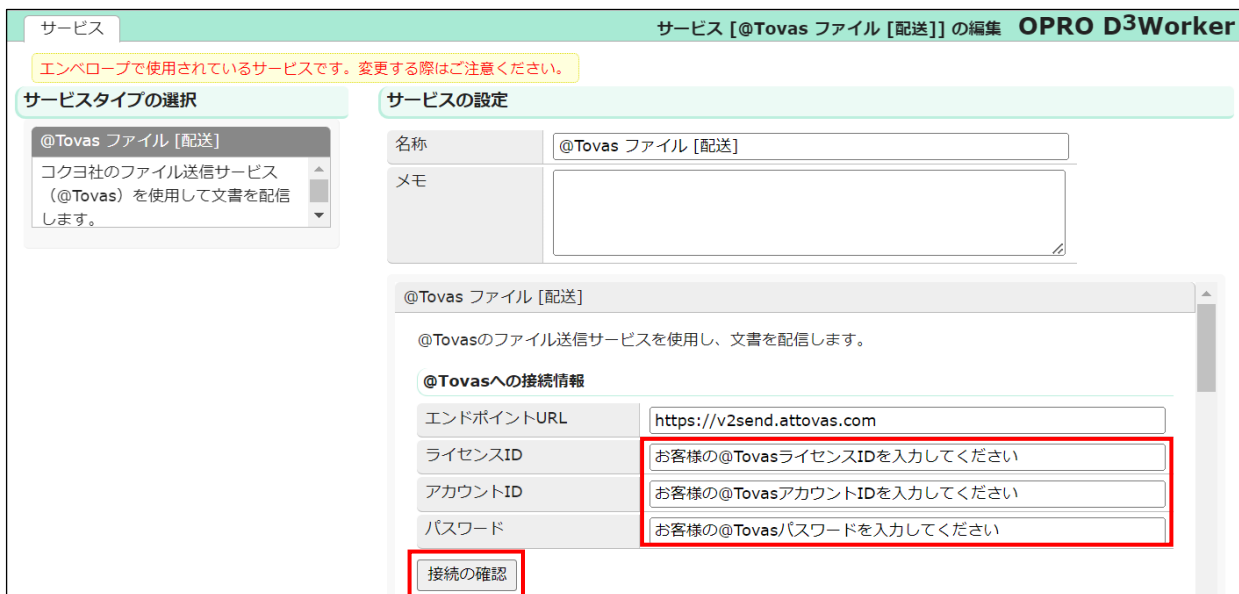
1.4.2 インポートしたサービスの設定編集

1. D3Worker の「サービス」タブへ移動します。
2. サービス「@Tovas ファイル [配送]」の「設定」をクリックします。



3. 以下項目に、お客様の@Tovas アカウントの情報を入力します。

- ・ライセンス ID
- ・アカウント ID
- ・パスワード



入力したら「接続の確認」をクリックして、正常に@Tovas へ接続できるか確認してください。

4. その他の項目についてはお好みで編集して、保存をクリックします。

@Tovas ファイル [配送]

再送回数	<input type="text"/>
ファイル送信有効期限	<input type="text" value="3"/> <small>日数で指定してください。 ※送信日+日数が有効期限となります。 ※[往復便送信(往路)]では、無効となります。</small>
通知メール件名	<input type="text"/>
通知メール本文	<input type="text"/>
受信確認通知メール	<input checked="" type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない
配信エラー通知メール	<input checked="" type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない
送信控えメール	<input checked="" type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない

ファイル受信者側条件定義

受取方法	パスワード付き DLでのファイル送信 ▼
パスワード	<input type="text"/> <small>[パスワード付き DLでのファイル送信]では、必須となります。 また、指定するパスワードは8文字~20文字の英数字で指定してください。</small>

ファイル送信先情報

[ファイル送信先情報]はエンベロープにて設定を行ってください。

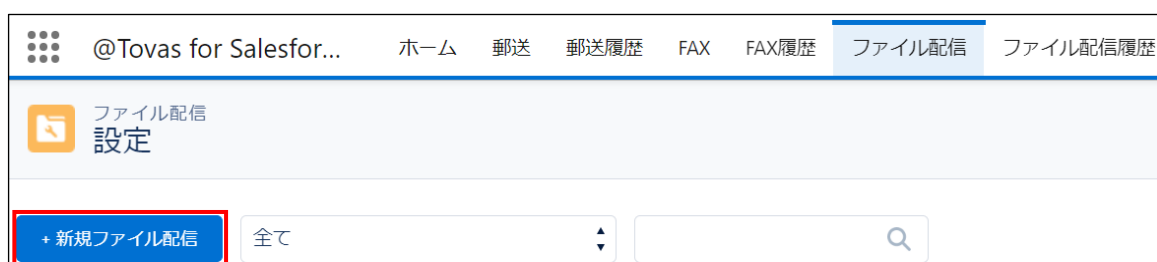
2. ファイル配信(Salesforce 連携)

Salesforce のデータを用いたファイル配信方法について説明します。

2.1 レコード作成

2.1.1 新規ファイル配信設定

1. [+新規ファイル配信]をクリックします。



2. ファイル配信名を入力します。



3. データタイプで[Salesforce]を選択します。



4. 送付情報 / 帳票に使うオブジェクトを選択します。
詳しくは、2.1.2 詳細設定で説明します。

オブジェクト / 送付先マッピング

送付情報 / 帳票に使うオブジェクト

商談

ファイル送信指示情報

* 通知メール件名 Email_Subject__c 指定

通知メール本文 Email_Body__c 指定

添付ファイル名 Attached_File_Name_ 指定

ファイル受信者側条件定義

パスワード Attached_File_Passwo 指定

ファイル送信先情報 (To)

* 送信先メールアドレス! FileDistribution_To__c 指定

送信先名称 FileDistribution_ToNar 指定

ファイル送信先情報 (CC)

送信先メールアドレス! FileDistribution_CC__c 指定

送信先名称 FileDistribution_CCNa 指定

ファイル送信先情報 (BCC)

送信先メールアドレス! FileDistribution_BCC_ 指定

5. テンプレートとワークの指定を行います。
詳しくは、2.1.2 詳細設定で説明します。

テンプレート / ワーク指定

帳票テンプレート

1	Billing	指定	+	x
---	---------	----	---	---

ここで指定されたテンプレートにもとづいて作成されたドキュメントが郵送されます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

- テンプレートタイプが「Live for Salesforce」のもの
- マッピング画面でオブジェクトと結び付けられていないもの (動的な項目の存在しないもの)、または、マッピング画面で「送付情報/帳票に使うオブジェクト」で選択されたオブジェクトと結び付けられているもの

注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。
[テンプレートについて](#)

ジョブ登録時にドキュメントをダウンロードする

ジョブ登録時にドキュメントを添付する

• ドキュメントはジョブ登録に使われたレコードに添付されます。

[デザインを開く](#)

ワーク (D3Worker)

@Tovas ファイル [配送]

[更新](#)

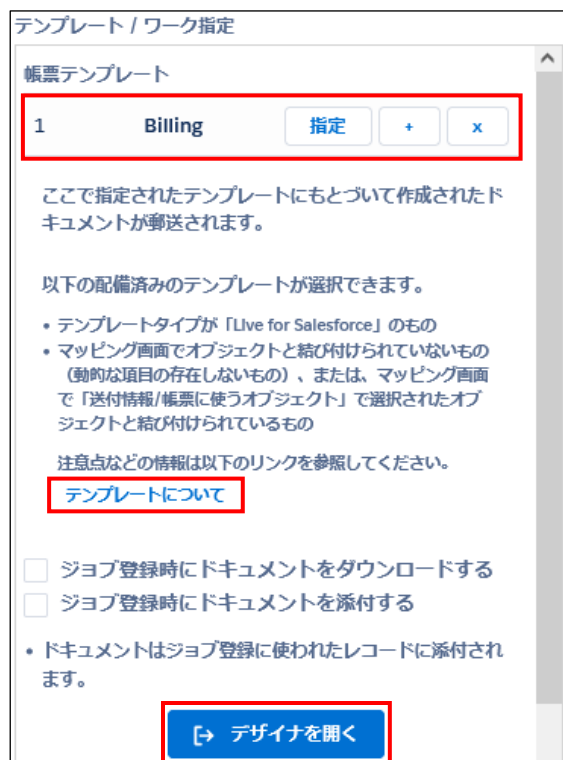
Point

帳票テンプレート

ここで指定したテンプレートを使用してドキュメントが生成され、ファイル配信されます。

指定できるテンプレートの条件は以下です。

- テンプレートタイプが「Live for Salesforce」のもの
- マッピング画面でオブジェクトと結び付けられていないもの(動的な項目の存在しないもの)、またはマッピング画面で「送付情報/帳票に使うオブジェクト」で選択されたオブジェクトと結び付けられているもの



その他、テンプレートに関する注意点については「テンプレートについて」をご覧ください。

[デザインを開く]ボタンで Designer にログインすることが可能です。

Point

ワーク

ここで指定した D3Worker のワークを使用してファイル配信が行われます。

指定できるワークの条件は以下です。

- データソースのフィールドが「@Tovas for Salesforce のファイル配信」向けに設定されているもの(※)
- 設定が完了しているもの (実行可能なもの)

※詳細は、[ワークについて]リンク先のページをご覧ください。



ワーク (D3Worker)

@Tovas ファイル [配送]

更新

ここで選択されたワークを使ってファイル配信がおこなわれます。

以下の定義済みのワークが選択できます。

- データソースのフィールドが「@Tovas for Salesforce のファイル配信」向けに設定されているもの。
- 設定が完了しているもの (実行可能なもの)

データソースのフィールド/注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。

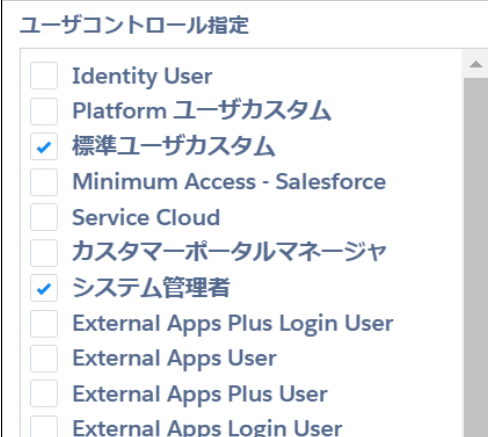
ワークについて

D3Workerを開く

[更新]ボタンをクリックすると、選択肢として表示されるワークが最新のものと更新されます。

[D3Worker]ボタンをクリックすると、D3Worker ログイン画面を開けます。

6. ユーザコントロール指定を行います。ファイル配信を実行するユーザプロフィールを指定します。
- ※ユーザコントロールに指定されていないプロフィールのユーザが処理を実行しようと[出力]ボタンをクリックするとエラーになります。



ユーザコントロール指定

- Identity User
- Platform ユーザカスタム
- 標準ユーザカスタム
- Minimum Access - Salesforce
- Service Cloud
- カスタマーポータルマネージャ
- システム管理者
- External Apps Plus Login User
- External Apps User
- External Apps Plus User
- External Apps Login User

7. [保存]ボタンをクリックします。

ファイル配信設定

ファイル配信名: ファイル配信テスト_Salesforce

データタイプ

- CSV
- Salesforce

送付情報/帳票に使うオブジェクト

商談

ファイル配信指示情報

*通知メール件名: Email_Subject__c [指定]

通知メール本文: Email_Body__c [指定]

添付ファイル名: Attached_File_Name_ [指定]

ファイル受信者側条件定義

パスワード: Attached_File_Passwo [指定]

パスワード付きDLでのファイル配信には必須(8~20文字の英数字)

ファイル配信先情報 (To)

*送信先メールアドレス: FileDistribution_To__c [指定]

送信先名称: FileDistribution_ToNar [指定]

ファイル配信先情報 (CC)

送信先メールアドレス: FileDistribution_CC__c [指定]

送信先名称: FileDistribution_CCNa [指定]

ファイル配信先情報 (BCC)

テンプレート/ワーク指定

帳票テンプレート

1	Billing	[指定]	[+]	[x]
---	---------	------	-----	-----

ここで指定されたテンプレートにもとづいて作成されたドキュメントが郵送されます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

- テンプレートタイプが「Live for Salesforce」のもの
- マッピング画面でオブジェクトと結び付けられていないもの(強制項目の存在しないもの)、または、マッピング画面で「送付情報/帳票に使うオブジェクト」で選択されたオブジェクトと結び付けられているもの

注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。
[テンプレートについて](#)

ジョブ登録時にドキュメントをダウンロードする

ジョブ登録時にドキュメントを添付する

ドキュメントはジョブ登録に使われたレコードに添付されます。

[> デザインを開く]

ワーク (D3Worker)

@Tovas ファイル [配送]

[更新]

ユーザコントロール指定

- Salesforce API Only System
- システム管理者
- Chatter Free User
- Analytics Cloud Integration User
- Analytics Cloud Security User
- External Apps Login User
- Minimum Access - Salesforce
- 標準 Platform ユーザ
- Customer Community Login User
- Cross Org Data Proxy User
- Authenticated Website
- Work.com Only User
- Customer Portal Manager Custom
- Identity User
- Customer Community Plus User
- Silver Partner User
- High Volume Customer Portal
- Gold Partner User
- Customer Portal Manager
- Standard
- Force.com - App Subscription User
- Customer Community Plus Login
- User
- Partner App Subscription User
- External Identity User

[キャンセル] [保存]

2.1.2 詳細設定

■ 送付情報 / 帳票に使うオブジェクト

1. 送付情報 / 帳票に使うオブジェクトを選択します。

オブジェクト / 送付先マッピング

送付情報 / 帳票に使うオブジェクト

- 商談
- 契約
- 注文
- ドキュメント
- メールテンプレート
- キャンペーン
- 取引先
- 取引先責任者
- リード
- 商談
- 添付ファイル

2. ファイル送信指示情報の[通知メール件名][通知メール本文][添付ファイル名]を指定します。
[指定]ボタンをクリックし、項目を選択します。

ファイル送信指示情報

*通知メール件名	Email_Subject__c	指定
通知メール本文	Email_Body__c	指定
添付ファイル名	Attached_File_Name_	指定

3. ファイル受信者条件定義の[パスワード]を指定します。[指定]ボタンをクリックし、項目を選択します。

ファイル受信者側条件定義

パスワード	Attached_File_Passwo	指定
-------	----------------------	----

4. ファイル送信先情報(To)の[送信先メールアドレス][送信先名称]を指定します。
[指定]ボタンをクリックし、項目を選択します。

ファイル送信先情報 (To)

*送信先メールアドレス	FileDelivery_To__c	指定
送信先名称	FileDelivery_ToName__	指定

5. ファイル送信先情報(CC)の[送信先メールアドレス][送信先名称]を指定します。
[指定]ボタンをクリックし、項目を選択します。

ファイル送信先情報 (CC)

送信先メールアドレス: FileDelivery_CC__c

送信先名称: FileDelivery_CCName_

6. ファイル送信先情報(BCC)の[送信先メールアドレス][送信先名称]を指定します。
[指定]ボタンをクリックし、項目を選択します。

ファイル送信先情報 (BCC)

送信先メールアドレス: FileDelivery_BCC__c

送信先名称: FileDelivery_BCCName

7. 1 でファイル配信履歴(FileDelivery History)オブジェクトへの参照項目を持つオブジェクトを選んだ場合、[履歴書き戻し先]としてその参照項目を指定できます。(指定は任意)

システム

履歴書き戻し先: FileDelivery_History__c

「履歴書き戻し先」には、更新可能なファイル配信履歴オブジェクトへの参照フィールドが指定できます。指定されている場合、ファイル配信ジョブの受付時に、受け付けられたジョブを示すファイル配信履歴レコードの参照が書き戻されます。

フィールドの指定

項目名 API参照名

ファイル配信履歴 FileDelivery_History__c

Point

- ファイル配信ジョブを受け付けた際に、該当ジョブを示すファイル配信履歴レコードの参照をジョブ実行したデータ元のレコードに書き戻します。
- 同じレコードから複数回ファイル配信した場合は、新しいファイル配信履歴の参照で書き換えられます。
- 「再送」機能を使った場合は、ファイル配信履歴の参照はデータ元のレコードには書き戻されません。

■ テンプレート / ワーク指定

1. ファイル配信に使用する帳票テンプレートを指定します。[指定]ボタンをクリックしテンプレートを選択します。
帳票に複数のテンプレートを使用する場合は、[+]ボタンで行を追加してください。

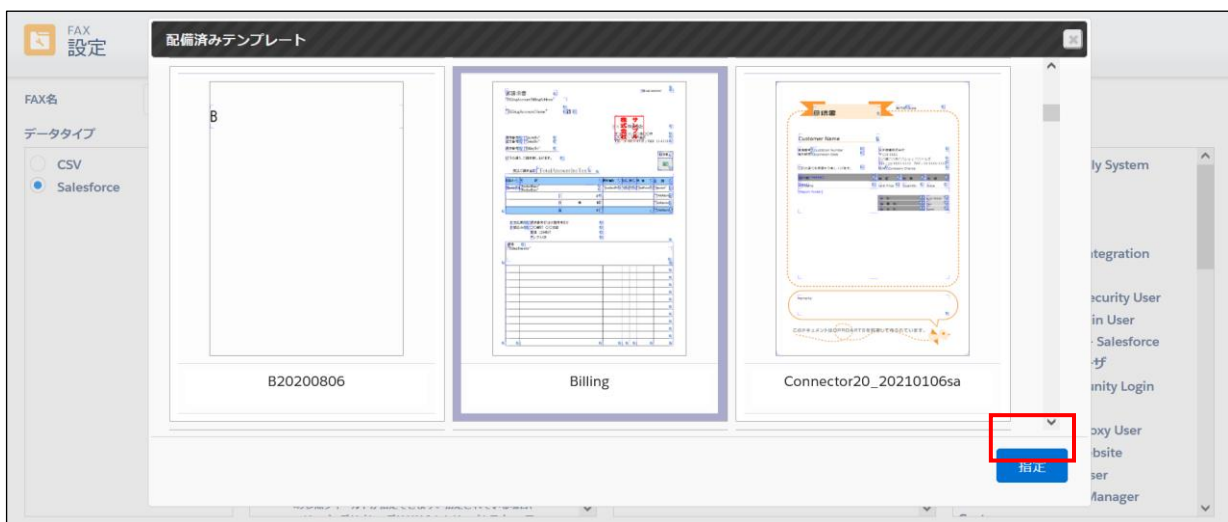
帳票テンプレート

1	指定	+	x
---	-----------	---	---

ここで指定されたテンプレートにもとづいて作成されたドキュメントが郵送されます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

- テンプレートタイプが「Live for Salesforce」のもの



2. ファイル配信を行う D3Worker のワークを選択します。

ワーク (D3Worker)

@Tovas ファイル [配送]
@Tovas ファイル [配送]

※選択肢として現れるワークの表示・[更新]クリック後のワーク情報更新には数秒かかることがあります。

以上の指定が済んだら、[2.1.1 新規ファイル配信作成](#)の工程 6 に戻ります。

2.2 自動ジョブ登録: 有効

Apex Scheduler を使ってファイル配信を行うパターンについて説明します。

レコードの特定のチェックボックス項目が「false」の場合に自動的にファイル配信が実行されるよう設定が可能です。成功/エラーを問わず、ジョブの登録後は指定されたチェックボックスフィールドの値が「true」に更新されます。

■ 設定方法

1. 「ファイル配信」レコードで指定したオブジェクトに、任意のチェックボックス項目を用意します。

商談 v1.3 ファイル配信テスト + フォローする

取引先名	次のステップ
種別	フェーズ Value Proposition
リードソース	確度(%) 50%
郵送済み <input type="checkbox"/>	主キャンペーンソース

▼ ファイル配信情報

ファイル配信履歴 T2000000000360-T2000000000545	自動ジョブ実行済み_ファイル配信 <input checked="" type="checkbox"/>
---	---

2. ファイル配信レコードの詳細画面で[出力]ボタンをクリックします。

ファイル配信設定

ファイル配信テスト_Salesforce: ファイル配信

データタイプ	Salesforce		
オブジェクト / 送付先マッピング	オブジェクト名	商談	
テンプレート	Billing	D3Worker ワーク	@Tovas ファイル【配送】
ユーザコントロール指定	システム管理者		
自動ジョブ登録	false		

← キャンセル ⚙️ 設定編集 📄 出力

3. 自動ジョブ登録で[有効]を選択します。

自動ジョブ登録

無効
 有効

有効にすると、スケジュール設定にもとづいてジョブが自動的に登録されます。

スケジュール設定

自動ジョブ登録制御項目の指定

4. 自動ジョブ登録制御項目の指定で項目を指定します。

スケジュール設定

自動ジョブ登録制御項目の指定

自動ジョブ実行済み_ファイル配信 (AutoJobDone_File__c)

チェックボックス項目を指定してください。指定された項目がfalseのレコードが自動ジョブ登録の対象となります。ジョブ登録完了後にこの項目の値はシステムによってtrueに更新されます。

- 1時間毎に実行されるタスクが5個登録されます。個数はカスタム設定で変更できます。(最小5個、最大12個です。時刻の指定はできません)
- 1回のタスクで登録されきれなかったジョブは次回以降のタスクで引き続き処理されます。
- タスクはここで保存操作をおこなったユーザの権限で実行されます。ファイル配信オブジェクトの参照/ファイル配信履歴オブジェクトの作成/データ元オブジェクトの参照・更新権限が必要です。

5. [保存]ボタンをクリックします。

ファイル配信
出力

ファイル配信テスト_Salesforce: ファイル配信

自動ジョブ登録

無効
 有効

有効にすると、スケジュール設定にもとづいてジョブが自動的に登録されます。

スケジュール設定

自動ジョブ登録制御項目の指定

自動ジョブ実行済み_ファイル配信 (AutoJobDone_File__c)

チェックボックス項目を指定してください。指定された項目がfalseのレコードが自動ジョブ登録の対象となります。ジョブ登録完了後にこの項目の値はシステムによってtrueに更新されます。

- 1時間毎に実行されるタスクが5個登録されます。個数はカスタム設定で変更できます。(最小5個、最大12個です。時刻の指定はできません)
- 1回のタスクで登録されきれなかったジョブは次回以降のタスクで引き続き処理されます。
- タスクはここで保存操作をおこなったユーザの権限で実行されます。ファイル配信オブジェクトの参照/ファイル配信履歴オブジェクトの作成/データ元オブジェクトの参照・更新権限が必要です。

手動ジョブ登録

ボタンの種類

詳細ボタン
 リストボタン

ボタンのラベル

ボタンの名前

ボタンの説明

ジョブを手動で登録したい場合は、ここでボタンを生成しページレイアウトに表示してください。ボタンからのジョブ登録は、自動ジョブ登録の「無効」「有効」にかかわらずおこなうことができます。

[生成]

[キャンセル] [保存]

Point

Apex Scheduler には以下の制約があります。

- 1時間毎に実行されるタスクが5個登録されます。個数はカスタム設定で変更できます。(最小5個、最大12個です。時刻の指定はできません)
- 1回のタスクで登録されきれなかったジョブは次回以降のタスクで引き続き処理されます。
- タスクはここで保存操作をおこなったユーザの権限で実行されます。
- ファイル配信オブジェクトの参照/ファイル配信履歴オブジェクトの作成/データ元オブジェクトの参照・更新権限が必要です。

注意

成功/失敗の確認は「ファイル配信履歴レコード」から確認する為、対象レコード上からは成功/失敗は確認できません。

2.3 自動ジョブ登録: 無効

ボタンをクリックしてファイル配信を行うパターンについて説明します。

2.3.1 詳細ページから出力する場合

1. 自動ジョブ登録で[無効]を選択します。

自動ジョブ登録

無効
 有効

有効にすると、スケジュール設定にもとづいてジョブが自動的に登録されます。

2. 手動ジョブ登録：ボタンの種類で[詳細ボタン]を選択し、[ボタンのラベル][ボタンの名前]を入力します。[ボタンの説明]は任意に入力します。

手動ジョブ登録

ボタンの種類

詳細ボタン
 リストボタン

ボタンのラベル

詳細ボタンサンプル

ボタンの名前

detail_button_sample

ボタンの説明

マニュアル・Salesforcde 連携用

3. [生成]ボタンをクリックします。

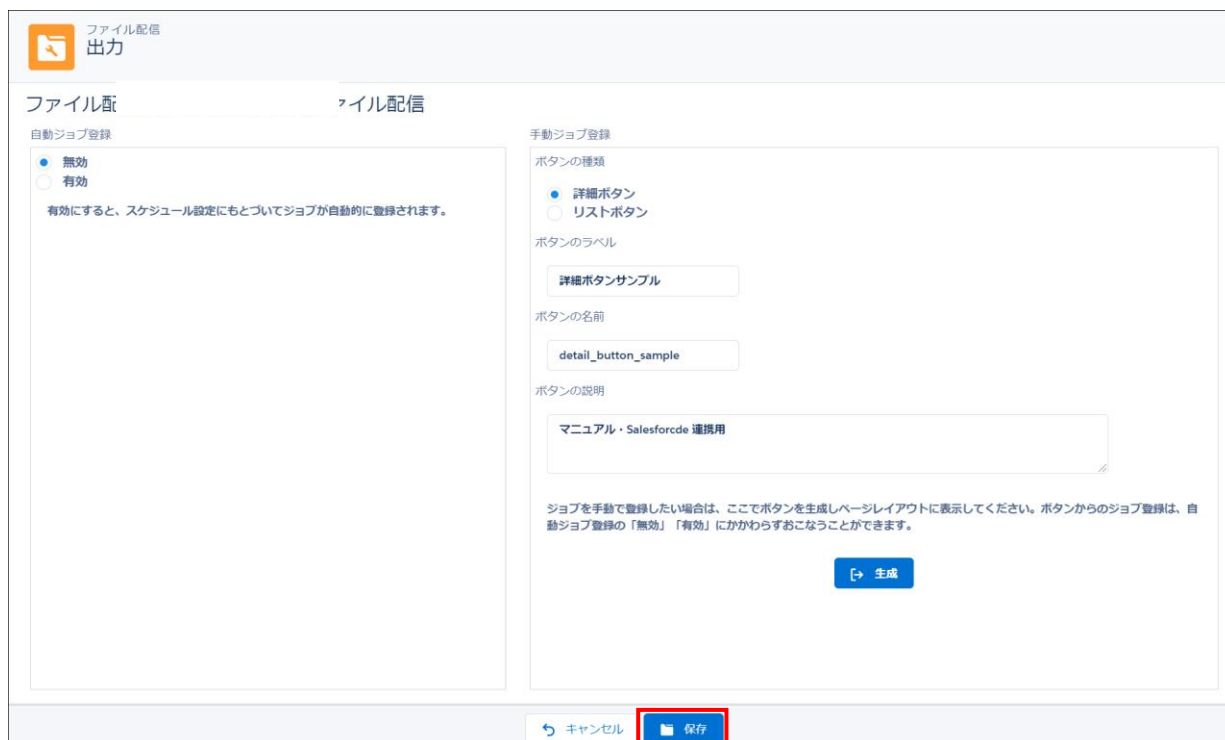
ボタンの説明

マニュアル・Salesforcde 連携用

ジョブを手動で登録したい場合は、ここでボタンを生成しページレイアウトに表示してください。ボタンからのジョブ登録は、自動ジョブ登録の「無効」「有効」にかかわらずおこなうことができます。

[\[> 生成\]](#)

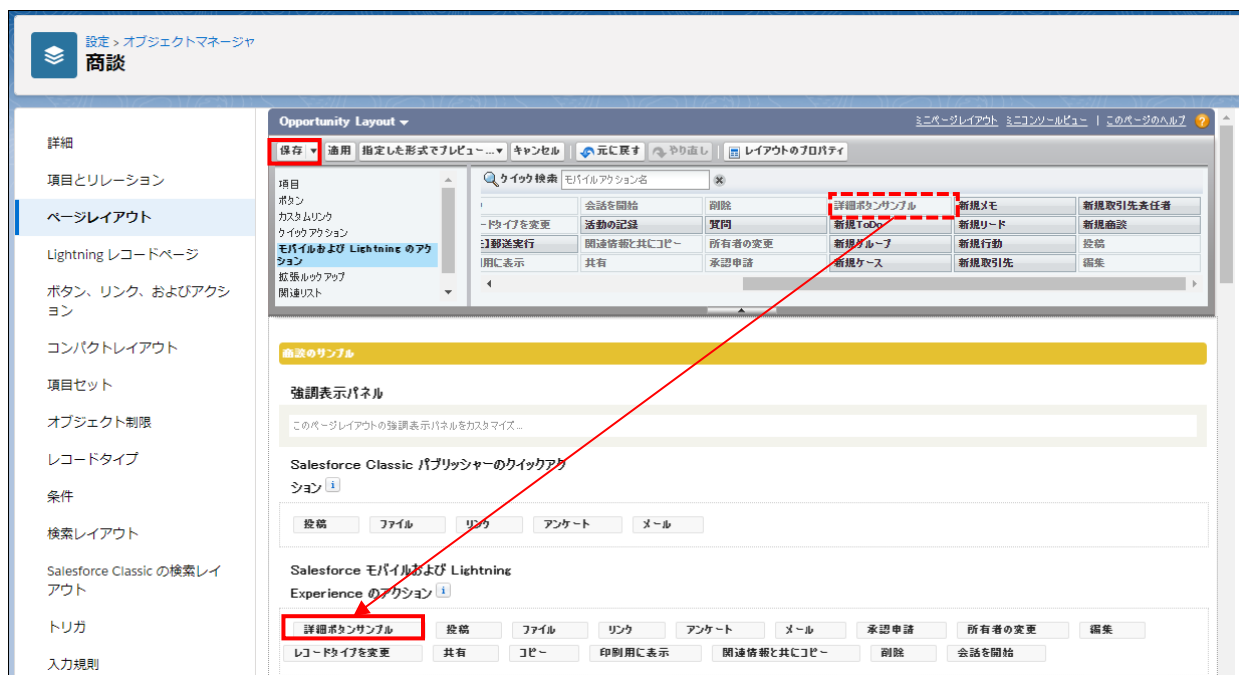
4. [保存]ボタンをクリックします。



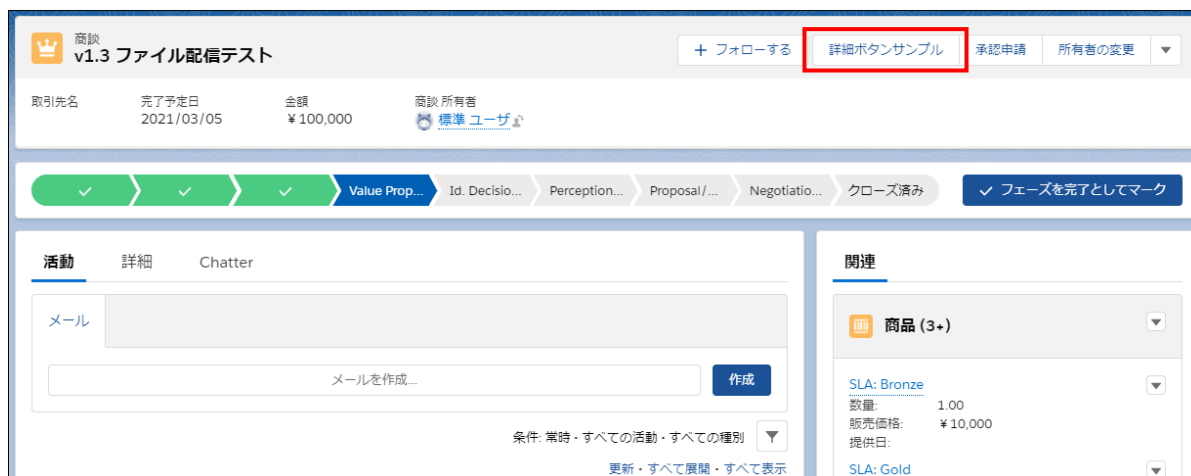
5. ボタンを配置するオブジェクトの[設定]>[オブジェクトを編集]をクリックします。



6. ページレイアウト設定で作成したボタンを配置させ、設定を保存します。



7. [出力ボタン]をクリックしファイル配信を実行します。



2.3.2 リストページから出力する場合

1. 自動ジョブ登録で[無効]を選択します。

自動ジョブ登録

無効
 有効

有効にすると、スケジュール設定にもとづいてジョブが自動的に登録されます。

2. 手動ジョブ登録：ボタンの種類で[リストボタン]を選択し、[ボタンのラベル][ボタンの名前]を入力します。[ボタンの説明]は任意に入力します。

手動ジョブ登録

ボタンの種類

詳細ボタン
 リストボタン

ボタンのラベル

リストボタンサンプル_ファイル

ボタンの名前

list_button_sample_file

ボタンの説明

マニュアル・Salesforce 連携用

3. [出力]ボタンをクリックします。

ボタンの説明

マニュアル・Salesforce 連携用

ジョブを手動で登録したい場合は、ここでボタンを生成しページレイアウトに表示してください。ボタンからのジョブ登録は、自動ジョブ登録の「無効」「有効」にかかわらずおこなうことができます。

生成

4. [保存]ボタンをクリックします。

ファイル配信
出力

ファイル配信テスト_Salesforce: ファイル配信

自動ジョブ登録

無効
 有効

有効にすると、スケジュール設定にもとづいてジョブが自動的に登録されます。

手動ジョブ登録

ボタンの種類

詳細ボタン
 リストボタン

ボタンのラベル

リストボタンサンプル_ファイル

ボタンの名前

list_button_sample_file

ボタンの説明

マニュアル・Salesforce 連携用

ジョブを手動で登録したい場合は、ここでボタンを生成しページレイアウトに表示してください。ボタンからのジョブ登録は、自動ジョブ登録の「無効」「有効」にかかわらずおこなうことができます。

[> 生成

キャンセル 保存

5. ボタンを配置するオブジェクトの[設定]> [オブジェクトを編集]をクリックします。

@Tovas

検索...

@Tovas for Salesfor... ホーム 郵送 郵送履歴 FAX FAX履歴 ファイル配信 ファイル配信履歴 *v1.3 ファイル配信テスト

設定

現在のアプリケーションの設定

サービスの設定

開発者コンソール

編集ページ

オブジェクトを編集

マーク

商談
v1.3 ファイル配信テスト

+ フォローする 新規

取引先名	完了予定日	金額	商談所有者
	2021/03/05	¥ 100,000	test1 @Tovas

Prospecting Qualification Needs Anal... Value Propo... Id. Decision ... Perception ... Proposal/Pri... Negotiation... クローズ済み

活動 詳細 Chatter

新規ToDo 活動の記録 新規行動 メール

条件: 常時・すべての活動・すべての種別

更新・すべて展開・すべて表示

今後 & 期限切れ

表示する活動がありません。
使用を開始するには、メールの送信や ToDo のスケジュールなどを行ってください。

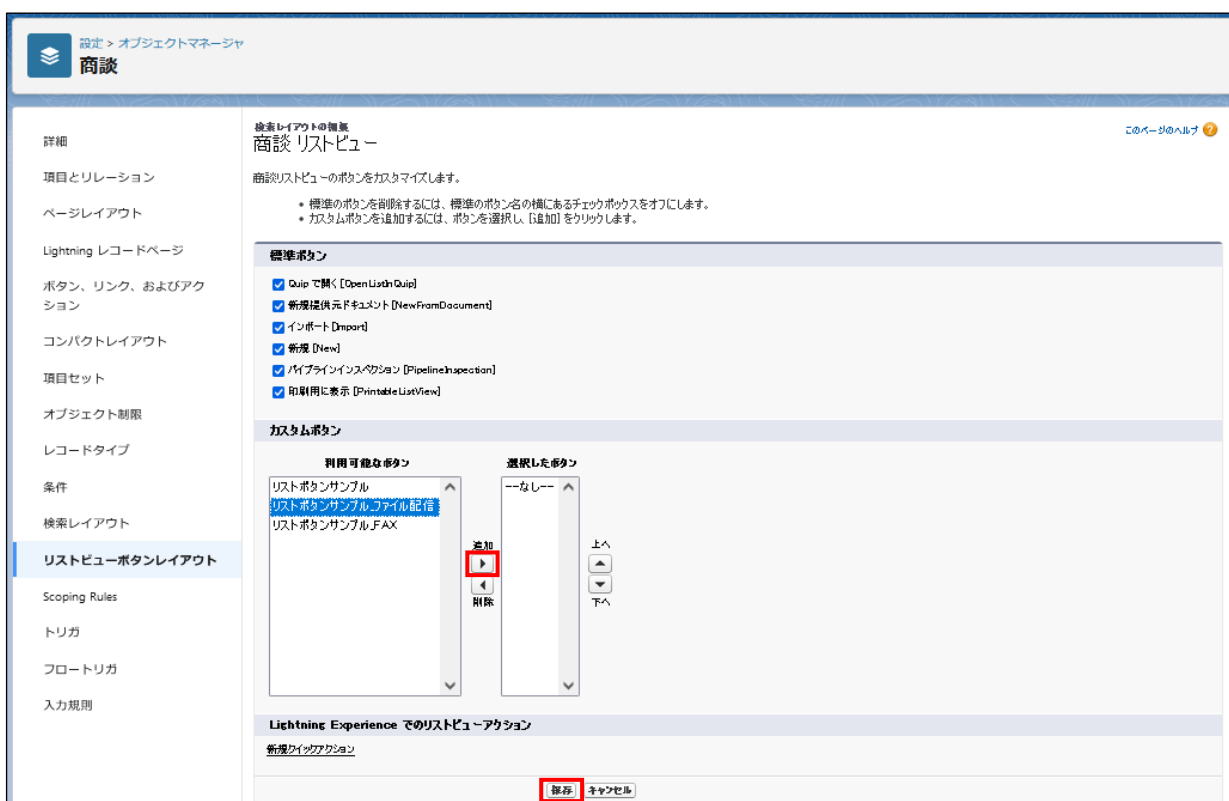
関連

商品 (3+)	SLA	数量	販売価格	提供日
	SLA: Bronze	1.00	¥ 10,000	
	SLA: Gold	1.00		

6. [リストビューボタンレイアウト]> [リストビュー]の編集をクリックします。



7. カスタムボタンの[利用可能なボタン]に作成したボタンが表示されるので、ボタンを選択して[追加]をクリックし、[選択したボタン]に移動させ、保存をクリックします。



8. [出力ボタン]をクリックしファイル配信を実行します。

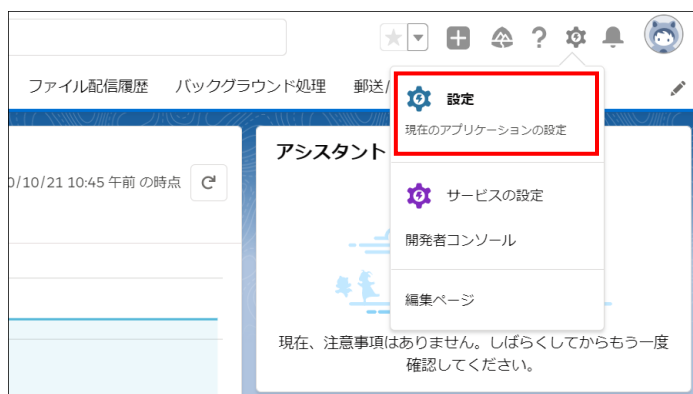


2.3.3 ボタン設置後の注意点

ボタンを設置しても、ボタンで使用している Visualforce ページ（ボタン生成時に同じく自動生成される）に対するアクセス許可がされていない場合はボタンを使用できません。

ユーザのプロファイル設定で、Visualforce ページへのアクセスを許可します。手順は以下です。

1. 設定画面に移動します。



2. クイック検索ボックスに「プロフィール」と入力し、ユーザ> プロファイル をクリックします。



3. ファイル配信を行うユーザのプロファイルのリンクをクリックします。

The screenshot shows the 'プロフィール' (Profile) page in Salesforce. A search bar at the top left contains 'プロフィール'. The left sidebar shows 'ユーザ' (Users) with 'プロフィール' selected. The main content area is a table of profiles. The profile '標準ユーザカスタム' (Standard User Custom) is highlighted with a red box. The table columns include '編集' (Edit), profile name, and '削除' (Delete).

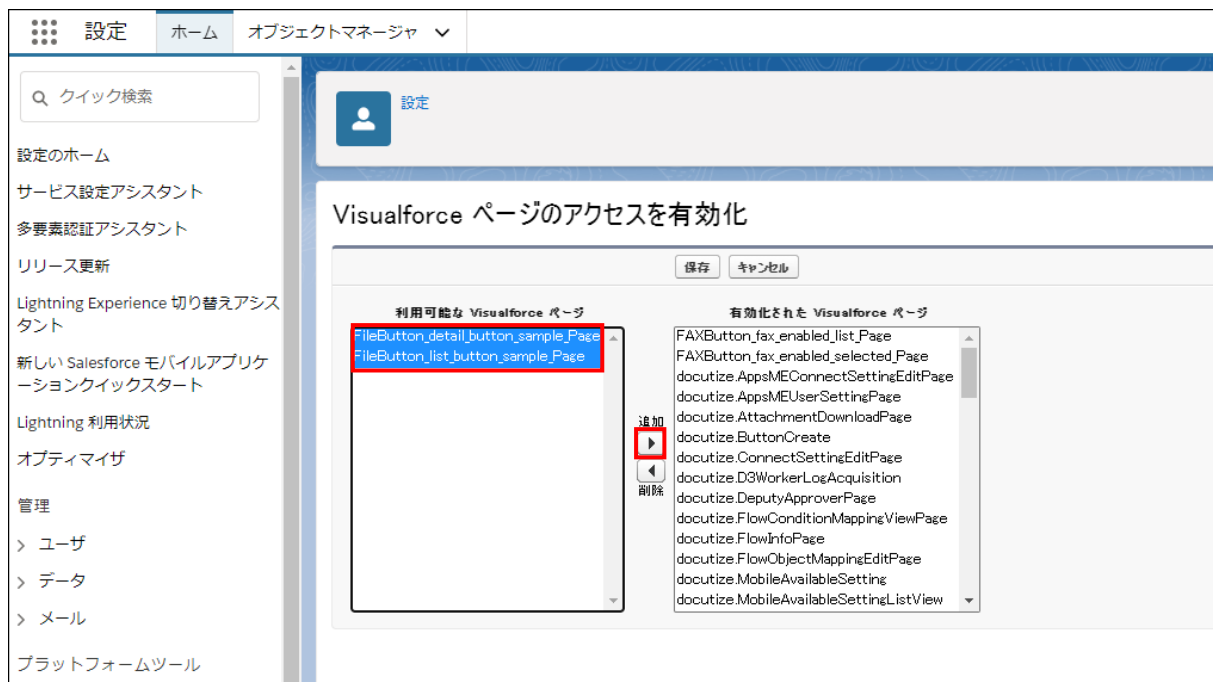
編集	プロフィール名	削除
<input type="checkbox"/>	Executive Identity User	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Force.com - Free User	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Gold Partner User	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	High Volume Customer Portal	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	High Volume Customer Portal User	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Identity User	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Minimum Access - Salesforce	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Overage Customer Portal Manager Custom	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Overage Customer Portal Manager Standard	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Overage High Volume Customer Portal User	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Partner Community Login User	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Partner Community User	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Platform ユーザカスタム	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Service Cloud	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Silver Partner User	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	Work.com Only User	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	カスタマーポータルマネージャ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	システム管理者	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	ソリューション管理者	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	パートナーユーザ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	マーケティングユーザ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	契約管理者	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	承認のみ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	標準 Platform ユーザ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	標準ユーザ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	標準ユーザカスタム	<input checked="" type="checkbox"/>

4. 画面を下にスクロールし、「有効な Visualforce ページアクセス」の[編集]をクリックします。

The screenshot shows the 'プロフィール' (Profile) page in Salesforce, scrolled down to the '有効な Visualforce ページアクセス' (Active Visualforce Page Access) section. The '編集' (Edit) button is highlighted with a red box. The page lists various Visualforce pages and their access status.

Visualforce ページ名	AppExchange パッケージ名
FAXButton_fx.enabled_list_Page	
FAXButton_fx.enabled_selected_Page	
FileButton_file.enabled_list_Page	
FileButton_file.enabled_selected_Page	
docu.tize.AppsMEConnectSettingEditPage	docu.tize
docu.tize.AppsMEUserSettingPage	docu.tize
docu.tize.AttachmentDownloadPage	docu.tize

5. ボタンで使用している Visualforce ページ（Visualforce ページ名から判別可能です）を「有効化された Visualforce ページ」に追加し、[保存]をクリックします。



3. ファイル配信(CSV 連携)

CSV データを用いたファイル配信方法について説明します。

3.1 レコード作成

1. [+新規ファイル配信]ボタンをクリックします。



2. 任意のファイル配信名を設定します。



3. データタイプでは使用するデータのタイプを設定します。
今回は「CSV」のデータと使用するため、「CSV」にチェックを入れます。



4. CSV 列指定では送付情報に使うフィールドや帳票生成に使用するフィールドの設定をします。送付先情報には先頭から 11 番目までのフィールド情報が使われます。11 番目までのデータは実行するのに最低限必要なフィールドです。CSV データの形式等については「CSV について」をご覧ください。

CSV列指定

送付情報に使うフィールド

送付先情報には先頭から11番目のフィールドの情報が使われます。以下のリンクからCSVの詳細な情報を得ることができます。

[CSVについて](#)

帳票生成に使うフィールド

帳票生成にCSVのデータを使います。

列目以降のフィールドを帳票生成に使います。

CSVに明細データを含みます。

列目以降のフィールドを明細データとして使います。

CSV のデータを帳票生成に使用したい場合は、「帳票生成に CSV のデータを使います。」にチェックを入れ、何列目以降のフィールドを使用するかを設定します。例では、12 列目と指定しています。

CSV列指定

送付情報に使うフィールド

送付先情報には先頭から11番目のフィールドの情報が使われます。以下のリンクからCSVの詳細な情報を得ることができます。

[CSVについて](#)

帳票生成に使うフィールド

帳票生成にCSVのデータを使います。

列目以降のフィールドを帳票生成に使います。

CSVに明細データを含みます。

列目以降のフィールドを明細データとして使います。

CSVデータに明細データを含む場合は、「CSVに明細データを含みます。」にチェックを入れ、何列目以降のフィールドを使用するかを設定します。例では、17列目と指定しています。

CSV列指定

送付情報に使うフィールド

送付先情報には先頭から11番目のフィールドの情報が使われます。以下のリンクからCSVの詳細な情報を得ることができます。

[CSVについて](#)

帳票生成に使うフィールド

帳票生成にCSVのデータを使います。

12 列目以降のフィールドを帳票生成に使います。

CSVに明細データを含みます。

17 列目以降のフィールドを明細データとして使います。

5. テンプレート / ワーク指定では使用する帳票テンプレートと D3Worker のワークを指定します。

Point	帳票テンプレート ここで指定したテンプレートを使用してドキュメントが生成され、ファイル配信されます。 指定できるテンプレートの条件は以下です。 <ul style="list-style-type: none">■ テンプレートタイプが「Live」のもの■ マッピング画面の「CSV 定義」が 3 個以上されていないもの■ マッピング画面の「CSV 定義」に「固定長」が指定されていないもの■ マッピング画面の「CSV 定義」「フィールド区切り記号」に「,」以外が指定されていないもの■ マッピング画面の「CSV 定義」「文字列の引用符」に「"」以外が指定されていないもの■ マッピング画面の「CSV 定義」「先頭行を無視する」のチェックがつけられていないもの
--------------	--

テンプレート / ワーク指定

帳票テンプレート

1	Billing	指定	+	x
---	---------	----	---	---

ここで指定されたテンプレートにもとづいて作成されたドキュメントが郵送されます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

- テンプレートタイプが「Live for Salesforce」のもの
- マッピング画面でオブジェクトと結び付けられていないもの（動的な項目の存在しないもの）、または、マッピング画面で「送付情報/帳票に使うオブジェクト」で選択されたオブジェクトと結び付けられているもの

注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。

[テンプレートについて](#)

ジョブ登録時にドキュメントをダウンロードする

ジョブ登録時にドキュメントを添付する

• ドキュメントはジョブ登録に使われたレコードに添付されます。

[\[> デザインを開く\]](#)

その他、テンプレートに関する注意点については「テンプレートについて」をご覧ください。

[デザインを開く]ボタンで Designer にログインすることが可能です。

Point

ワーク

ここで指定した D3Worker のワークを使用してファイル配信が行われます。

指定できるワークの条件は以下です。

- データソースのフィールドが「@Tovas for Salesforce のファイル配信」向けに設定されているもの(※)
- 設定が完了しているもの（実行可能なもの）

※詳細は、[ワークについて]リンク先のページをご覧ください。

ワーク (D3Worker)

[@Tovas ファイル \[配送\]](#)

[更新](#)

ここで選択されたワークを使ってファイル配信がおこなわれます。

以下の定義済みのワークが選択できます。

- データソースのフィールドが「@Tovas for Salesforce のファイル配信」向けに設定されているもの。
- 設定が完了しているもの（実行可能なもの）

データソースのフィールド/注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。

[ワークについて](#)

[\[> D3Workerを開く\]](#)

[更新]ボタンをクリックすると、選択肢として表示されるワークが最新のものです更新されます。

[D3Worker]ボタンをクリックすると、D3Worker ログイン画面を開けます。

6. ユーザコントロール指定では、処理を実行する Salesforce プロファイルを指定します。

※ユーザコントロールに指定されていないプロファイルのユーザが処理を実行しようと[出力]ボタンをクリックするとエラーになります。

ユーザコントロール指定

- Identity User
- Platform ユーザカスタム
- 標準ユーザカスタム
- Minimum Access - Salesforce
- Service Cloud
- カスタマーポータルマネージャ
- システム管理者
- External Apps Plus Login User
- External Apps User
- External Apps Plus User

[保存]ボタンをクリックして、ファイル配信レコードを保存します。

ファイル配信 設定

ファイル配信名: ファイル配信_CSV

データタイプ: CSV (選択済み), Salesforce

CSV列指定

送付情報に使うフィールド

送付先情報には先頭から11個目のフィールドの情報が使われます。以下のリンクからCSVの詳細な情報を得ることができます。

CSVについて

帳票生成に使うフィールド

- 帳票生成にCSVのデータを使います。
12 列目以降のフィールドを帳票生成に使います。
- CSVに明細データを含みます。
17 列目以降のフィールドを明細データとして使います。

テンプレート / ワーク指定

帳票テンプレート

1 Billing [指定] [+] [x]

ここで指定されたテンプレートにもとづいて作成されたドキュメントが郵送されます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

- テンプレートタイプが「Live」のもの
- マッピング画面の「CSV定義」が3個以上されていないもの
- マッピング画面の「CSV定義」に「固定値」が指定されていないもの
- マッピング画面の「CSV定義」 「フィールド区切り記号」に「|」以外が指定されていないもの
- マッピング画面の「CSV定義」 「文字列の引用符」に「"」以外が指定されていないもの
- マッピング画面の「CSV定義」 「先頭行を無視する」のチェックがつけられていないもの

注意などの情報は以下のリンクを参照してください。
テンプレートについて

[> デザインを開く]

ワーク (D3Worker)

@Tovas ファイル [配送]

[更新]


ユーザコントロール指定

- Identity User
- Platform ユーザカスタム
- 標準ユーザカスタム
- Minimum Access - Salesforce
- Service Cloud
- カスタマーポータルマネージャ
- システム管理者
- External Apps Plus Login User
- External Apps User
- External Apps Plus User
- External Apps Login User
- 標準 Platform ユーザ
- パートナーユーザ
- Authenticated Website
- High Volume Customer Portal
- Force.com - Free User
- Chatter Free User
- Chatter Moderator User
- External Identity User
- Company Communities User
- Chatter External User
- Customer Community User
- Customer Community Login User
- Partner Community Login User
- Partner Community User
- Chatter Only User
- Cross Org Data Proxy User
- Work.com Only User

[キャンセル] [保存]

3.2 自動ジョブ登録

ファイル配信レコードの詳細画面で[出力]をクリックします。

 ファイル配信
設定


ファイル配信_CSV: ファイル配信

データタイプ		CSV		
CSV列指定	CSV 帳票開始列	12		
	CSV 帳票明細開始列	17		
テンプレート		Billing	D3Worker ワーク	@Tovas ファイル【配送】
ユーザコントロール指定		標準ユーザカスタムシステム管理者		
自動ジョブ登録		false		

[← キャンセル](#) [* 設定編集](#) [→ 出力](#)

ジョブを自動で登録するか、手動で登録するかを選択します。

※自動ジョブ登録は、システム連携向けの機能です。

 ファイル配信
出力

ファイル配信_CSV: ファイル配信

自動ジョブ登録

無効
 有効

有効にすると、このレコードの添付ファイルへのCSVファイル登録時に自動的にジョブが登録されます。

3.2.1 「有効」を選択した場合

[保存]をクリックします。

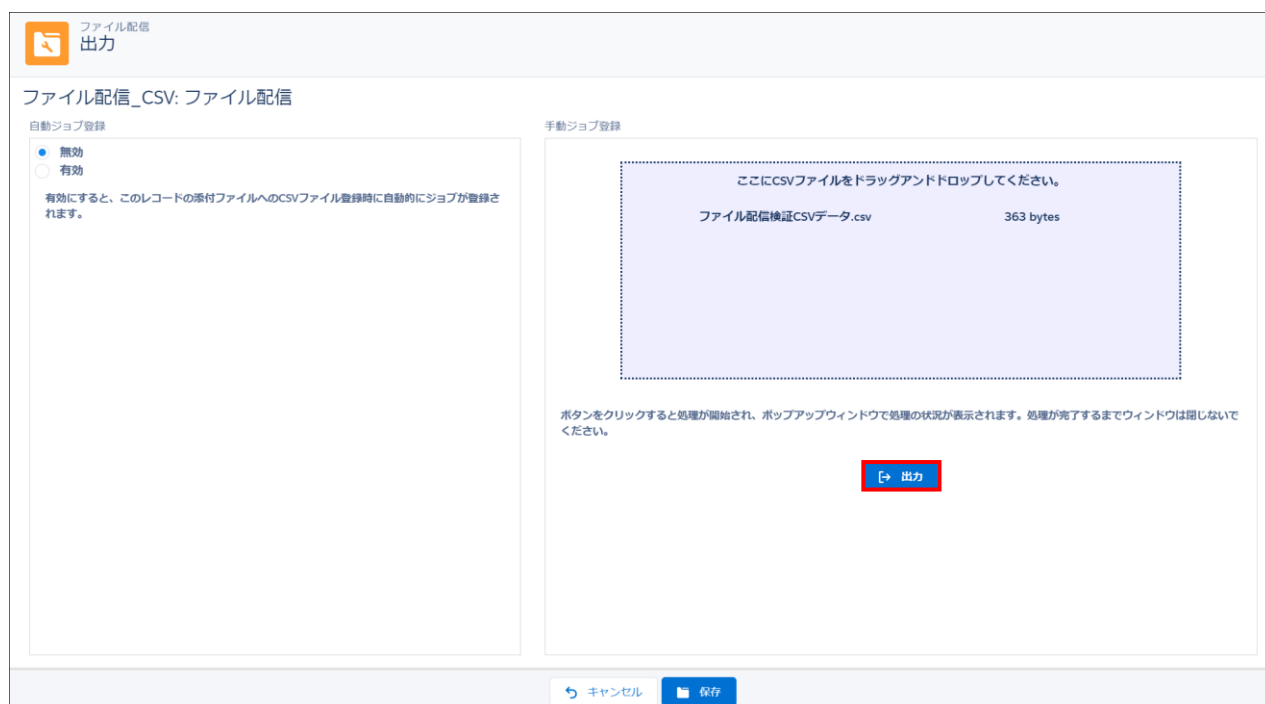
ファイル配信レコードの添付ファイルとして CSV ファイルがアップロードされたタイミングで、自動的にジョブが登録されます。

注意 本機能を使用する場合は、追加で以下のカスタムオブジェクト権限が必要です。

- ファイル配信履歴: 参照・作成・編集

3.2.2 「無効」を選択した場合

「手動ジョブ登録」に CSV ファイルをドラッグ&ドロップして、[出力]ボタンをクリックします。ボタンをクリックすると処理が開始します。



※指定できる CSV ファイルは 1 つです。

※ポップアップウィンドウで処理の状況が表示されます。処理が完了するまでウィンドウは閉じないでください。

4. ファイル配信履歴

ファイル配信履歴の使用方法について説明します。

4.1 ファイル配信履歴レコード

[ファイル配信履歴]タブでは実行したファイル配信の履歴を確認することができます。

手動もしくは Apex Scheduler にてファイル配信依頼を行った 1 ファイル配信単位で履歴レコードが生成されます。

受付ID	ジョブID	作成日 (From)	作成日 (To)	最終更新日 (From)	最終更新日 (To)
T2000000000364	T2000000000549	2021/03/02 17:24	2021/03/09 18:11		
T2000000000362	T2000000000547	2021/03/02 17:14	2021/03/02 17:16		
T2000000000361	T2000000000546	2021/03/02 16:57	2021/03/02 17:06		
T200000000036C	T2000000000545	2021/03/02 16:36	2021/03/02 16:46		

ファイル配信履歴レコードの項目は以下です。

- 受付 ID : ファイル配信依頼を受け付けた単位で、発番されます。
- ジョブ ID : ファイル配信単位で発番されます。
- ステータス : 現在のファイル配信状況を示します。@tovasと@Tovas for Salesforce の中間サーバから 1 時間当たり 12 回のステータス更新アクションが取られ、本項目の値は更新されます。
※ 一定の日数よりも前のファイル配信履歴についてはステータス更新の対象から外れます。
- その他 : ファイル配信に関連する情報が格納されます。

Point 指定した条件に当てはまる履歴の検索も可能です。

Point ステータスでは、現在のファイル配信状況を確認することができ、以下の値を取ります。

- 文書作成中
- 送信中
- 送信完了

-
- 送信失敗
 - 文書作成エラー
 - 送信エラー
 - データエラー

以下のステータスのとき、「ダウンロード」アクションが可能になります。

- 送信中
- 送信完了
- 送信失敗
- 送信エラー

以下のステータスのとき、「再送」アクションが可能になります。

- 送信完了
 - 送信失敗
 - 送信エラー
-

4.2 @Tovas 履歴レコード

ファイル配信履歴レコードの子レコードとして、@Tovas 履歴レコードが作成されます。

@Tovas 履歴レコードによって、D3Worker 経由で実行された@Tovas の処理履歴を確認できます。

1. ファイル配信履歴レコードの詳細画面を開きます。

受付ID	ジョブID	作成日	最終更新日
T2000000000361	T2000000000546	2021/03/02 16:57	2021/03/02 17:06
T2000000000360	T2000000000545	2021/03/02 16:36	2021/03/02 16:46

2. 「関連」タブへ移動します。

ファイル配信履歴
a172w0000091bPJ

関連 詳細

受付ID
T2000000000361

ジョブID
T2000000000546

ステータス
送信完了

ファイル配信
[ファイル配信テスト_Salesforce](#)

ファイル配信名
ファイル配信テスト_Salesforce

所有者
標準ユーザ

3. 「@Tovas 履歴」の関連リストに表示されている、@Tovas 履歴レコードのリンクをクリックします。

ファイル配信履歴
a172w0000091bPJ

関連 詳細

ファイル配信履歴 (再送) (0) 新規

@Tovas履歴 (1) 新規

@Tovas履歴名
[20210302-V2-188519-FIL-002800701](#)

すべて表示

4. @Tovas 履歴レコードの詳細画面が開きます。

The screenshot shows a web interface for a history record. At the top, there is a header bar with a wrench icon, the text '@Tovas履歴 20210302-V2-188519-FIL-002800701', and buttons for '編集' (Edit), '削除' (Delete), and 'コピー' (Copy). Below the header, there are two tabs: '関連' (Related) and '詳細' (Details), with '詳細' being the active tab. The main content area is a list of key-value pairs, each with an edit icon to its right. The items are: 'FAX履歴' (FAX history) with owner '製品検証用 開発者'; 'ファイル配信履歴' (File distribution history) with ID 'a172w0000091bPJ'; '@Tovas ID' with ID '20210302-V2-188519-FIL-002800701'; '処理された数' (Number of items processed) with value '3'; '総処理数' (Total number of items processed) with value '3'; 'ステータス' (Status) with value 'COMPLETED'; '失敗理由' (Failure reason) with value 'D3Worker'; '配送日時' (Delivery date and time) with value '2021/03/02 16:57'; '配送開始日時' (Delivery start date and time) with value '2021/03/02 16:57'; '配送更新日時' (Delivery update date and time) with value '2021/03/02 17:02'; and '@Tovas履歴名' (@Tovas history name) with ID '20210302-V2-188519-FIL-002800701'. At the bottom of the list, there is a dropdown menu showing 'D3Worker'.

項目	値	所有者
FAX履歴		製品検証用 開発者
ファイル配信履歴	a172w0000091bPJ	
@Tovas ID	20210302-V2-188519-FIL-002800701	
処理された数	3	
総処理数	3	
ステータス	COMPLETED	
失敗理由	D3Worker	
配送日時	2021/03/02 16:57	
配送開始日時	2021/03/02 16:57	
配送更新日時	2021/03/02 17:02	
@Tovas履歴名	20210302-V2-188519-FIL-002800701	

5. バックグラウンド処理

バックグラウンド処理設定について説明します。

5.1 スケジューラ登録

[バックグラウンド処理]タブにて「登録」ボタンをクリックすることで、バックグラウンド処理履歴に表示されるステータス値の更新がされるようになります。

この作業を行わないとステータス更新がされず、バックグラウンド処理が実行されません。

バックグラウンド処理

スケジューラ登録

ステータス更新 未登録 **登録**

- 1時間毎に実行されるタスクが12個登録されます。個数はカスタム設定で変更できます。変更後12個です。時刻の指定はできません)
- タスクはここで登録操作をおこなったユーザの権限で実行されます。「郵送/FAX/ファイル配信オブジェクト」の作成・削除の権限が必要です。

バックグラウンド処理履歴

開始時刻	種別	ステータス
------	----	-------

注意 この操作は
ファイル配信履歴オブジェクトの参照・更新権限
OPROARTS ユーザオブジェクトへの参照権限
を持ったユーザで行います。
この操作を行うユーザへパッケージ「@Tovas for Salesforce」のパッケージライセンスが付与されていることも必要です。

「登録」を押したタイミングでそのユーザに権限があればよいのではなく、その後ファイル配信履歴のステータス更新が行われる毎タイミングで常に権限が付与されていないことに注意してください。

5.2 バックグラウンド処理履歴

バックグラウンドで行われる処理

- 自動ジョブ登録
- ステータス更新

を確認するための機能です。

郵送
バックグラウンド処理

スケジューラ登録

ステータス更新 登録済み 解除

- 1時間毎に実行されるタスクが5個登録されます。個数はカスタム設定で変更できます。変更後は登録操作をやり直してください（最小5個、最大12個です。時刻の指定はできません）
- タスクはここで登録操作をおこなったユーザの権限で実行されます。郵送履歴オブジェクトの参照・更新の権限が必要です。

バックグラウンド処理履歴

開始時刻: 2020/09/04 種別: ステータス ジョブ(SF) ジョブ(CSV) 内部 ステータス: 処理中 正常終了 異常終了 検索

開始時刻	終了時刻	処理時間(ミリ秒)	種別	ステータス	メッセージ
2020/09/04 16:18	2020/09/04 16:18	115	ジョブ(SF)	正常終了	Started / 08e2w000009Q5WcA
2020/09/04 16:18	2020/09/04 16:18	1489	内部	異常終了	Started / OPROARTS Prime Link
2020/09/04 16:12	2020/09/04 16:12	131	ステータス	正常終了	Started / 08e2w000009QcQSA
2020/09/04 16:12	2020/09/04 16:12	2074	内部	異常終了	Started / OPROARTS Prime Link
2020/09/04 16:08	2020/09/04 16:08	134	ジョブ(SF)	正常終了	Started / 08e2w000009Q5Wbj

注意 検索結果に希望する処理の結果レコードが表示されない場合は、ジョブの登録操作が行われているかご確認ください。

注意 希望する処理の結果レコードのステータスが「異常終了」の場合は、サポートサイトに該当のレコードの以下の情報をお知らせください。

- 開始時刻
- 終了時刻
- 処理時間(ミリ秒)
- 種別
- ステータス
- メッセージ

6. パッケージのアンインストール

拡張パッケージ「@Tovas for Salesforce」のアンインストール手順について説明します。

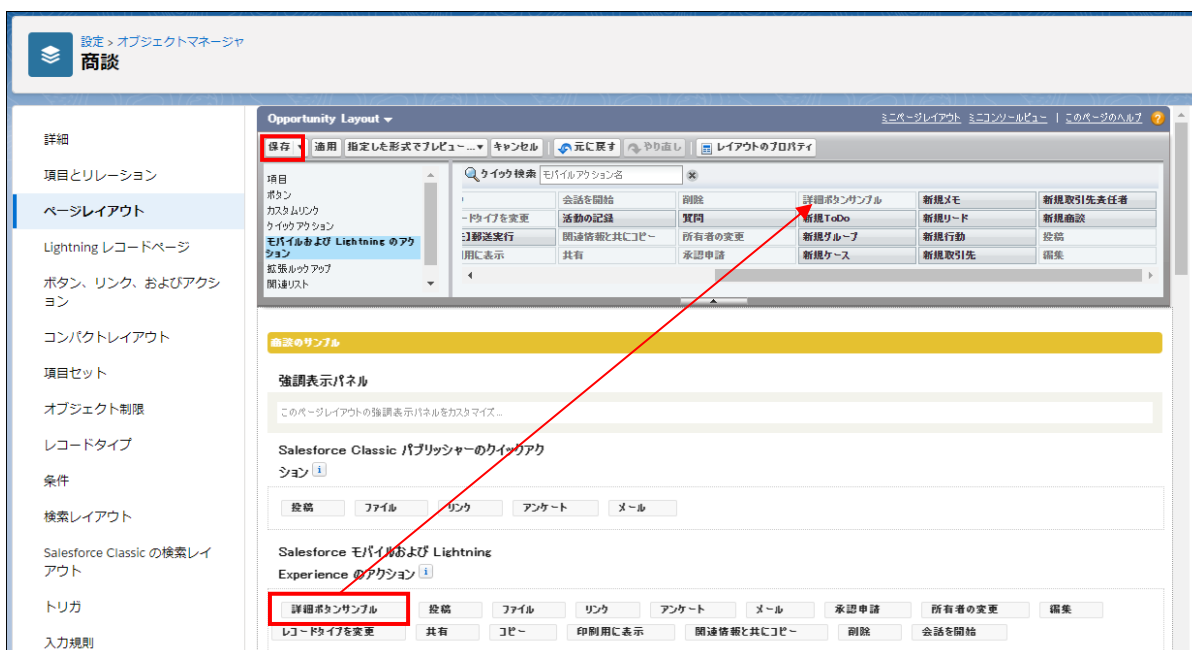
6.1 アンインストールの事前準備

Salesforce のデータ連携用に作成したボタンを削除します。手順は以下です。

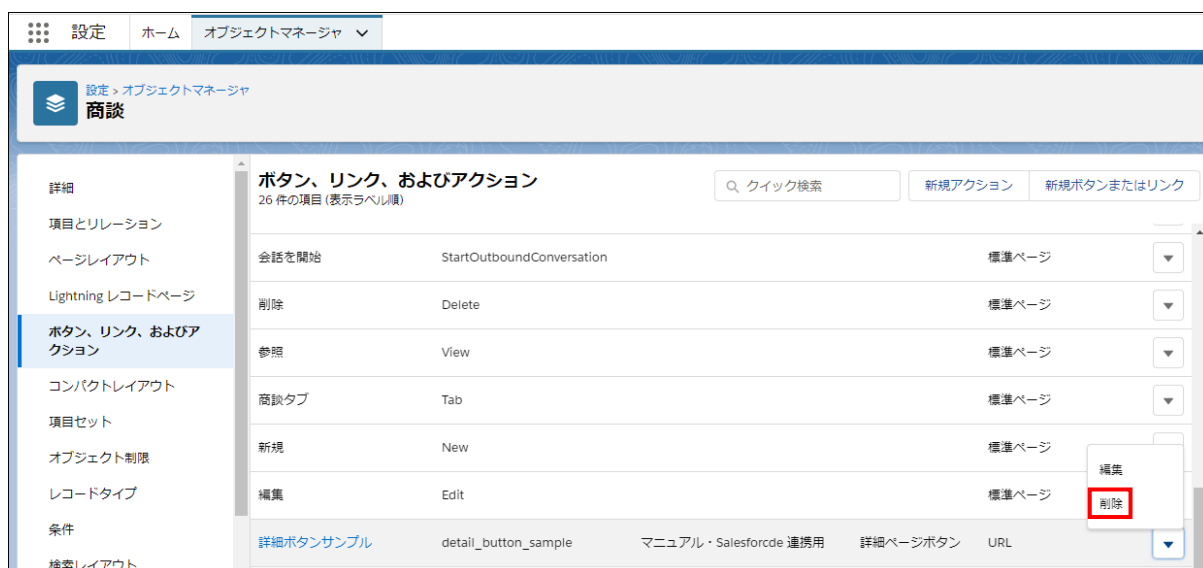
1. 該当のオブジェクト>設定>「オブジェクトを編集」をクリックします。



2. 「ページレイアウト」設定より、作成した出力ボタンを外します。
ドラッグ & ドロップでボタンを除いたら、[保存]をクリックします。



3. 「ボタン、リンク、およびアクション」設定より、作成したボタンを削除します。



4. 作成した Visualforce ページを削除します。



6.2 アンインストールの手順

1. 設定画面のクイック検索欄に「インストール済み」と入力し、[インストール済みパッケージ]をクリックします。
@Tovas for Salesforceの「アンインストール」をクリックします。



2. パッケージのアンインストール画面で「はい。このパッケージをアンインストールして、すべての関連コンポーネントを永久に削除します」にチェックを入れ、[アンインストール]ボタンをクリックします。
削除完了後にメールが届きます。





@Tovas for Salesforce

ユーザーガイド

(ファイル配信)

発行元 株式会社オプロ

